



# 五中だより

自分には  
何ができるか

第1号  
令和3年4月13日  
調布市立第五中学校  
校長 小坂 力

## 入学おめでとうございます

校長 小坂 力

4月に調布市立第七中学校から本校に着任しました小坂力（こさかつとむ）

です。教科は保健体育、部活動指導は長年サッカー部を指導して参りました。自分が指導してきた思いや実践、教え子との交流など自分の経験・財産を全て本校の学校経営に生かしていきたいと考えています。趣味はスポーツ全般で、現在もサッカーを続けています。

本校の在籍数は1年生245名、2年生272名、3年生233名の計750名です。この数は単なる数ではなく、「命の数」です。生徒一人一人の命に「生きる力（徳・知・体）」をバランスよく育てていくことが本校の使命と考えています。

そのため、一人一人を大切に、良さを認め、一人一人の成長を支援していくことが大切と思っています。

そこで、本校の教育目標は以下の通りとします。

- (1) 徳 「思いやりと助け合う心をもとう」
- (2) 知 「自ら学ぶ人になろう」
- (3) 体 「心と体を鍛えよう」

これらの教育目標の達成のため目指す学校像を以下の通りとしました。

★生徒一人一人に居場所があり

★安心・安全で

★自分の力を伸ばせる学校

コロナ禍の状況は、まだまだ続くと考えられますが、子供たちの健康・安全を第一にしつつ、できることを探し、保護者の方々、地域関係者の方々の御理解・御協力を得ながら全力で取り組んでまいりたいと思っております。どうぞよろしく願います。

## 入学式で伝えた大切にしてほしい3つのこと

学校長祝辞より

第一は「自分自身を大切にすること」です。

みなさん一人一人はかけがえのない存在です。世界中にあなたと同じ顔の人は一人もいません。歴史上にもいないでしょう。世界に一人しかいないあなたという存在、あなたにしかないものを大切にしてほしいと思います。人間は生まれてきたこと自体が最大のチャンスなのです。自分にしかない与えられたチャンスを生かしてほしいと思います。

第二は「仲間を大切にすること」です。

自分自身を大切にすると同じように仲間を大切にしてください。仲間といい関係を築けば、素晴らしい中学校生活になるはずです。本校ではいじめは絶対に許しません。いじめがあった際には、100%いじめられた生徒を守る体制で指導を徹底していきます。

第三は「時間を大切にすること」です。

この3年間をどのように使うかは皆さん次第です。時間は公平で皆さんに与えられた時間は同じです。この限られた時間を大切にすることが、みなさんの成長の鍵になります。特に学校生活の大半の時間を占める授業で、自分からすすんで学べるように1時間1時間の授業を大切にしてください。

「時間の使い方は命の使い方」です。

## 誓いの言葉

1年 渡邊 丈太郎

本日は、立派な入学式を行っていただき本当にありがとうございます。今日、私たち二四五名の新入生は新しく始まる中学校生活に、たくさんの希望と少しの不安を抱きながら、この第五中学校に入学しました。ほんの数週間前までランドセルを背負いそれぞれが着慣れた服を着て小学校に通っていたことを考えると、五中生として、校章をあしらったエンブレムのついたブレザーを身にまとい、背筋を伸ばして今ここに立っている自分が不思議に感じられます。

中学校での学習は、算数が数学に変わったり、本格的に英語を勉強したり、技術という教科が加わったりします。そして中間テストや期末テストという集中的にテストをする期間もあると聞きました。授業以外でも、生徒が中心となって活動する生徒会活動や部活動もあります。何もかもが私たちにとって初めての経験です。今から楽しみで仕方がありません。でも私がそれ以上に楽しみにしているのは新しい仲間との出会いです。たくさんの友達を作って中学校生活を充実したものにしたいです。そのためにコミュニケーションを大切にしたいと思います。それを大切にすれば人との関係がよくなり、仲間も増え、何より信頼関係を築くことができると思います。私たち一年生は7クラス、245名ということで、人数の多さに少し不安もありますが、その人数の多さを生かして体育大会や合唱コンクールといった行事を盛り上げ、上級生や友達の良いところをたくさん見つけていけたらいいなと思います。多くの仲間といろいろなことにチャレンジし、お互いを高めあっている中学校生活にしたいです。お世話になる先生方をはじめ職員のみなさま、上級生のみなさん、これから私たちが夢に向かって一日一日実りある中学校生活を送れるよう努力していきます。今までは両親や先生方に作ってもらった道をたどるだけでしたが、これからは自分たちで道を切り開いていきます。戸惑うこと、迷うこともあるかもしれませんが、仲間とともに支えあい頑張っていきます。これからの中学校生活三年間、どうぞよろしくお願いします。

五中には3年間お世話になりました。そしてこの五中が最後の学校になりました。最後の学校にふさわしい学校、ふさわしい学年になるように努力してきましたつもりですが、この時間や出会いは想像を超えたものになりました。お世話になった保護者の皆さんの中にはかつての教え子がいて時の流れを痛感しました。同僚教員の中には他校で苦楽を共にした凄腕の先生方が多数いました。懐かしいうえに頼もしくて、毎日濃密な時間を過ごすことができました。まるで長い長い同窓会をしているようでした。そして何よりもここで出会った生徒の皆さんにはいつも助けられ仲良くしてもらい素敵な合唱を聴かせてもらい、これぞ「先生」という夢のような3年間を過ごすことができました。部活動や行事でも様々な交流がありましたが、特に心に残るのは授業での交流でした。漢字を覚え、文章を読み解くことも国語ですが、できれば心に刺さる言葉や心を元気にする言葉を見つけて、生きる力に変えてほしいと願って授業をしていました。どんどん脱線していつかははらした人もいたと思います。一所懸命顔を向けて聞いてくれる人や時折うなずいてくれる人に励まされ、さらに脱線してゆくことも少なくありませんでした。言葉は不思議で様々な力をもっています。その力は老若男女を問わず等しく与えられたものです。これからも皆さんにはたくさん勉強してもらい、多くの言葉を身につけ、その言葉を使って自分も周囲の人も明るく照らし、元気にしてくれることを期待しています。大変お世話になりました。この五中で出会ったすべての人に感謝します。

国語科 元3年C組担任 池田 尚久

## 離任された先生方からの メッセージ

五中生のパワーと先生方の協力、そして保護者や地域のみなさまからの温かいご支援があったから大混乱の令和2年度を生徒たちにとって有意義な年にできました。20年後の社会を創造していくために、多くのことを学んでください。心から喜び、相手の身になって怒り悲しみ、思いっきり楽しんでいきましょう！第五中学校は、それが実現可能な場所です。1年間ありがとうございました。

元校長 生田目 将

3年間ありがとうございました。五中生のパワーは素晴らしく、毎日刺激をもらいながら学校生活を頑張ることができました。授業や皆さんとの関わりからは様々なことを学ぶことができました。かけがえのない中学校生活、自分自身を大切に、勉強や部活動等に励んでください。皆さんの成長を応援しています。保健体育科 野上理美